

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公表番号】特表2011-526887(P2011-526887A)

【公表日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-042

【出願番号】特願2011-516261(P2011-516261)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4709 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

C 0 7 D 401/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4709

A 6 1 P 31/04

C 0 7 D 401/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月17日(2011.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

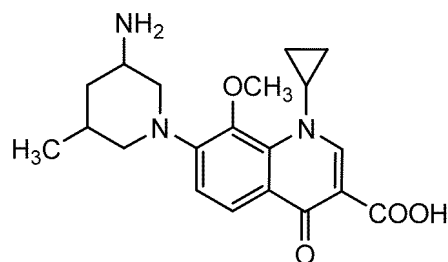
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式：

【化 1】



の化合物および製薬上許容できる担体を含む感染症の治療のための組成物であって、前記感染症が、メチシリン非感受性細菌、バンコマイシン非感受性細菌、ペニシリン非感受性細菌、クラリスロマイシン非感受性細菌、またはメトロニダゾール非感受性細菌によって引き起こされる感染症の治療のための組成物。

【請求項 2】

前記感染症が、メチシリン耐性表皮ブドウ球菌(*Staphylococcus epidermidis*)によって引き起こされる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記感染症が、クラリスロマイシン耐性ヘリコバクターピロリ(*Helicobacter pylori*)またはメトロニダゾール耐性ヘリコバクターピロリ(*Helicobacter pylori*)によって引き起こされる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記感染症が、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(*Staphylococcus aureus*)、排出関連(ef flux-related)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(*Staphylococcus aureus*)、バンコマイシン低感受性黄色ブドウ球菌(vancomycin-intermediate *Staphylococcus aureus*)、ヘテロバ

ンコマイシン低感受性黄色ブドウ球菌(hetero-vancomycin-intermediate Staphylococcus aureus)、またはバンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(vancomycin-resistant Staphylococcus aureus)によって引き起こされる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記感染症が、市中感染型メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(community-associated Staphylococcus aureus)によって引き起こされる、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記感染症が、ペニシリン耐性肺炎連鎖球菌(Streptococcus pneumoniae)によって引き起こされる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記感染症が、メチシリン、バンコマイシン、およびペニシリンの少なくとも一種に耐性がある、多剤耐性肺炎連鎖球菌(Streptococcus pneumoniae)によって引き起こされる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記感染症が、糖尿病足感染症、手術創感染症、尿路感染症、血流感染症、院内感染性肺炎、市中肺炎、または皮膚感染症である、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記化合物が塩の形態である、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記化合物がリンゴ酸塩の形態である、請求項 9 に記載の組成物。

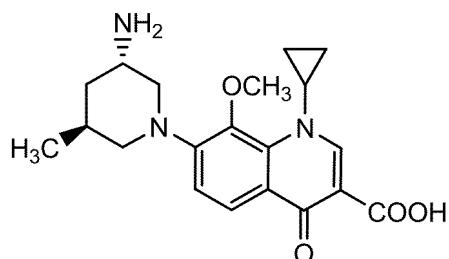
【請求項 11】

前記化合物がリンゴ酸塩 0.5 水和物の形態である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

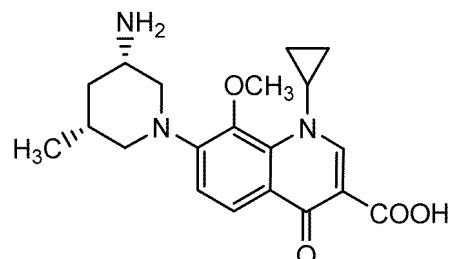
前記化合物が下記式：

【化 2】



または下記式：

【化 3】



を有する、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の組成物。